

## 聖餐式の言葉から 11

### 心を神に <感謝聖別 1>

いよいよ**感謝聖別**の祈りに入ります。その冒頭は、司式者と会衆の間に交わされる 3 重の対話句（呼びかけ―応答）です。

司祭 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

司祭 心を神に

会衆 主に心を献げます

司祭 主なる神に感謝しましょう

会衆 感謝と賛美はわたしたちの務めです

司祭の呼びかけ「心を神に」はラテン語の **sursum corda**（スルスム コルダ＝上に！ 心を）の訳です。ここで心をまっすぐ神に上げるのです。

「スルスム コルダ」と呼ばれるこの対話句は、3 世紀の礼拝にさかのぼると言われます。

司祭 主なる神に感謝しましょう

会衆 **感謝と賛美はわたしたちの務めです**

司式者の呼びかけに会衆は賛同して応答し、一緒に**神への感謝と賛美**を新たにします。

聖餐式文には「呼びかけー応答」が何度か出て来ますが、ここはそれが**3回重ねられる**ことによって、司式者と会衆の心が一つになって高まります。そのことを大切にしましょう。

ここでわたしたちの思いは神に向けて高まり、またより深まって、後に続く感謝聖別の祈りへと導き入れられます。

こうして、これから司式者によって表現されていく神の救いの業を心に留め、主イエスの聖餐制定の言葉に耳を傾け、父・子・聖霊の三位一体の神の救いを賛美しつつ、イエス・キリストの臨在に触れていきます。

(司祭 井田 泉)